

令和8年10月9日

福島県知事 内堀 雅雄 様

福島県公共事業評価委員会
委員長 仙頭 紀明

令和8年度公共事業評価対象事業に係る県の対応方針(案) に対する意見書

令和8年度公共事業評価対象事業となった14件の事業について審議した結果、本委員会の意見は下記のとおりです。

県におかれましては、本委員会の意見を尊重して対応方針を決定するようお願いします。
記

1 事業全体に共通する意見

当初計画と比較し、事業費が増加している事業が見受けられる。そのため、事業の計画立案に当たっては、これまでの事業における計画変更や事業費増加の要因を十分検証し、その知見を類似事業へ適切に反映させるなど、PDCAサイクルを継続的に実施し、計画の質の向上に努められたい。

また、当初の想定と異なる土質に遭遇するリスクや関係機関との事前協議内容からの変更の増加および近年の自然条件の変化を踏まえ、調査・設計段階における検討の充実や関係機関との十分な調整に努めるとともに、事業実施を通じて得られた知見を広く共有し、更なる事業費増加の抑制と効率的・効果的な事業執行に努められたい。

2 個別事業に対する意見

整理番号	事業	箇所名（市町村）	委員会の意見
101	補助事業（河川）・ 交付金事業（河川）	北須川 （石川町）	〔対応方針〕 事業継続
102	交付金事業（砂防）	院内沢 （会津若松市）	〔対応方針〕 事業継続
103	交付金事業（砂防）	小田川 （西会津町）	〔対応方針〕 事業継続
104	交付金事業（砂防）	滝ノ沢 （矢祭町）	〔対応方針〕 事業継続
105	交付金事業（砂防）	慶山沢 （会津若松市）	〔対応方針〕 見直し継続 〔付帯意見〕 事業推進にあたっては、 想定と異なる土質条件を確認したこと等に伴う事業費の増加を踏まえ、土質の課題等について必要に応じて有識者等の意見を参考にされたい。また、コスト、工期、

整理 番号	事業	箇所名（市町村）	委員会の意見
			現地の制約条件、環境への配慮（残土抑制）等を総合的に評価したうえで工法を適切に選定するなど、今後の類似事業における調査・設計の精度向上に努められたい。 更なる事業費の増加が生じることのないよう十分に留意するとともに、コスト縮減のため不断の取組を継続し、事業効果の早期発現に努められたい。
106	交付金事業（道路）	国道 401 号 大芦工区 （昭和村）	〔対応方針〕 事業継続
107	道路橋りょう改良事業 （県単）	石井大子線 茗荷 2 工区 （矢祭町）	〔対応方針〕 事業継続
108	交付金事業（道路） （再生・復興）	浪江三春線 小出谷工区 （葛尾村）	〔対応方針〕 事業継続
109	交付金事業（道路）	国道 289 号 入叶津道路 （只見町）	〔対応方針〕 見直し継続 〔付帯意見〕 事業推進にあたっては、追加雪崩対策等に伴う事業費増加を踏まえ、国等の関係機関との連携やドローン等の新技術を活用した調査手法の導入など、今回得られた知見を今後の類似事業に活かすよう努められたい。 また、更なる計画変更による事業費の増加が生じないよう十分留意するとともに、コスト縮減のため不断の取組を継続し、事業効果の早期発現に努められたい。

整理 番号	事業	箇所名（市町村）	委員会の意見
201	農地中間管理機構関連 農地整備事業	神谷地区 （いわき市）	〔対応方針〕 見直し継続 〔付帯意見〕 事業推進にあたっては、事業費増加の要因となった追加の湧水対策や電柱移設について十分検証を行い、今後の類似事業においては、当初計画の精度向上や施工後の補完工事の抑制に資するよう、その知見を活かされたい。 また、更なる事業費の増加が生じないように十分留意するとともに、コスト縮減のため不断の取組を継続し、事業効果の早期発現に努められたい。
202	農地中間管理機構関連 農地整備事業	飯豊上地区 （小野町）	〔対応方針〕 見直し継続 〔付帯意見〕 事業推進にあたっては、橋梁工法の変更及び湧水対策等に伴う事業費増加を踏まえ、今後の類似事業においては、関係機関との十分な調整や将来的な営農環境の変化を見据えた計画策定に努めるなど、当初計画の精度向上や施工後の補完工事の抑制に資するよう、その知見を活かされたい。 また、更なる事業費の増加が生じないように十分留意するとともに、コスト縮減のため不断の取組を継続し、事業効果の早期発現に努められたい。
203	中山間地域総合整備事業（県営）	下郷地区 （下郷町）	〔対応方針〕 見直し継続 〔付帯意見〕 事業推進にあたっては、工法変更に伴う事業費増加

整理 番号	事業	箇所名（市町村）	委員会の意見
			を踏まえ、事業計画の策定段階において関係機関等との調整や工法選定に係る検討を十分に行い、計画精度の向上に努めるとともに、その知見を今後の類似事業に活かされたい。 また、更なる事業費の増加が生じないよう十分留意するとともに、コスト縮減のため不断の取組を継続し、事業効果の早期発現に努められたい。
204	広域営農団地農道整備事業	いわき地区 （いわき市）	〔対応方針〕 事業継続
205	ため池等整備事業（一般）	新池大池地区 （中島村）	〔対応方針〕 見直し継続 〔付帯意見〕 本地区の事業推進にあたっては、更なる事業費の増加が生じることのないよう十分に留意するとともに、コスト縮減に向けた不断の取組を継続し、事業効果の早期発現に努められたい。 また、今後のため池整備においては、事前のボーリング調査等により土質条件を的確に把握し、事業費の見積精度の向上を図ることで、計画段階の妥当性を高めるとともに、その知見を類似事業へ適切に活用されたい。

3 審議経過

月日	委員会・部会
6月12日	第1回福島県公共事業評価委員会（14事業を審議）
7月10日 7月17日	福島県公共事業評価委員会合同部会（5事業を現地調査）
9月 8日	第2回福島県公共事業評価委員会（意見取りまとめ）

